

オーストラリアでの研修について

1) パースでの生活

オーストラリアの夏は日本とは反対に乾燥しており気温が高くても日本よりは過ごしやすかった。しかし、日差しはとても強くサングラスは必須であった。秋が近かったので朝は肌寒かった。大学まではバスと電車を乗り継いで行ったが、両方とも日本と同じくらい正確な時間で動いていたので不便はしなかった。電車とバスではスマートライダーという日本でいう P A S M O のようなものを使うことで乗り降りがスムーズになり割引もされるので便利であった。乗客のほとんどがこれを利用して利用していた。放課後や休日は友達とパースの街に出かけたり、ショッピングセンターに行ったりしていたがそんなに広くはないので後半の週はあきてしまった。パースではほとんどの店が 17 時ってしまいが金曜日だけは夜まで賑わっていた。

2) 英語研修プログラムについて

研修プログラムは週 2 日は午前と午後に 2 時間ずつ ELICOS の授業で残りの 3 日は午前が ELICOS で午後はオーストラリアの文化について学んだり観光地や美術館の見学、ボランティアなどをした。ELICOS のクラスはレベル別に分かれていた。私のクラスは 20 人程で中国、ベトナム、アラブなどから来ていた。去年のこの研修の報告書にも書かれていたが、よく外国の学生は日本の学生よりも積極的だと言われていたので期待していたが、私のクラスでは活発に意見が飛び交ったり積極的に発言するということはなく残念だった。(他のクラスではそうでもなかったらしいが) 彼らは私よりもはるかに英語が話せていたが文法に関してはあまり私と変わらないようだった。授業ではテキストの内容は難しくはなかったが先生の言っていることが聞き取れず何をすればいいのか分からなくなることが時々あった。

3) ホストファミリーのこと

私のホストは 70 代のおばあさん 1 人でした。週末にはフィッシュアンドチップスの店やビーチ、ショッピングセンターなど色々なところに連れて行ってくれました。最後の週にはお別れ会を開いてくれたり、カンガルーパーティーを開いてくれました。

4) 研修を通じて

実際に英語を使って生活してみると自分の伝えたいことが伝えられないもどかしさを感じもつと英語が話せるようになって会話をしたいと思うようになった。





